

前田 大然選手、太子町の PR 大使に就任！



令和4年 6月定例会

◆定例会概要

◆6議員が町政を問う（一般質問）

◆議会のうごき

p1～p2

p3～p5

p6～p8



まへだ だいぜん 前田 大然選手紹介

1997年生まれ。太子町出身のサッカー選手。スコティッシュ・プレミアシップ・セルティックFC所属。ポジションは、フォワード。2021年のJ1リーグで史上2番目の若さで得点王を受賞。日本代表。東京2020オリンピックでも活躍。



第2回定例会は、6月2日に招集され、24日までの23日間にわたって開かれました。今定例会では、補正予算、条例改正などについて審議され、すべての議案を可決しました。また、一般質問には、6人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。

補正予算

会計名	予算額	補正後の総額
4年度一般会計（第2号）	4646万6千円	56億9332万円
4年度一般会計（第3号）	4789万9千円	57億4121万9千円

【主な内容】 ≪2号≫○新型コロナウイルス感染症対策事業（総合福祉センターのトイレ改修工事）1837万5千円○地域公共交通事業（役場前バス停へのミスト設置）1936万8千円
 ≪3号≫○戸籍住民登録事業（人件費）204万7千円○社会保障・税番号制度促進事業1153万5千円○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）1212万円○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（4回目分）2111万円○ごみ事業（人件費）108万7千円

なし。マイナンバーカードは、対面でもオンラインでも安全・確実に本人確認を行う事ができ、健康保険証としての利用や薬剤・特定健診情報等の閲覧、公金受け取り口座の登録、新型コロナワクチンの接種証明書の取得など、利活用が拡大しており、住民がサービスを楽しむための取り組みを強化することは、当然。マイナンバーカードの普及を促進するための経費のほか、子育て世帯への生活支援目的給付金、住民の命と健康を守るため4回目となる新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費計上など重要かつ緊急性が高く、住民福祉の増進に必要な事業に係る予算であり、すべての財源として国庫支出金を活用するなどの工夫がある。今後も住民の生活に必要な事業を着実に推進することを要望し賛成。

●一般会計（第2号）

質 疑

問 総合福祉センタートイレ改修工事請負費の詳細は。

答 1階、2階トイレの大・小便器及び洗面台を新型コロナウイルス感染症対策ですべて洋式化、非接触型に改修。床面のバリアフリー化を行う。

●一般会計（第3号）

質 疑

問 マイナンバーカード取得促進業務委託の内容は。

答 8月上旬から令和5年2月末まで。人材派遣業者に委託。3名程度を派遣してもらい、カードの申請受付やマイナポイント取得の手続きサポートや案内チラシの配布など普及啓発活動への対応を予定。

問 ごみ事業を増額補正する理由は。

答 4月に、ごみ事業担当課の正職員を1名減らしてマイナンバー担当課に振り替える人事配置を行った。これに伴いごみ事業担当課で新たに雇用した会計年度任用職員1名分の経費が補助金対象となることから、補正予算に計上。

討 論

【反対】 デジタル機器を使いこなせない人は行政サービスから取り残される恐れがある。住民の暮らしに役立つデジタル化は否定しないが、自公政権が推し進めている「デジタル改革」は、国や自治体も膨大な個人情報の「データ利活用」を成長戦略と位置づけ、企業に開放し、儲けのタネとしていくための「改革」。新型コロナウイルス感染症が長期化する非常事態に物価高騰が追い打ちをかけるも、住民の命と暮らし、地域経済を守る役割が求められているのに自公政権は、新自由主義の「地方行革」を自治体に押しつけ、地方自治を壊す政策をすすめている。コロナ対策を先送りにしながら、住民が望んでもいない社会保障・税番号制度促進事業を6月議会会期中の追加の補正に出すやり方、それも委託業者に1200万円もの多額の予算であり、マイナンバー制度が多くの問題を抱えていることから反対。

【賛成】 国の最重要施策として社会のデジタル化が進められており、社会インフラの改革は待った

条例改正

●情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例制定の件

【内容】 デジタル手続法に基づき、町の機関に係る申請、届出その他の手続きを行うことができるよう、必要な事項を定めるもの。

質 疑

問 行政手続きをオンライン化するメリットは。

答 保育施設の利用申込みや要介護認定の申請など子育て・介護関係の手続きがオンライン上で可能になる。

●ふるさと太子応援基金条例中改正の件

【内容】 町外に本社を置く企業が、寄附を行った場合に、企業版ふるさと納税として税額控除を受けることが可能となったため、本条例

に「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業として実施する事業」を追加し、企業から収受した寄附金の適正な管理及び効果的運用を図る。

質 疑

問 寄附者への返礼品は。

答 個人版とは異なり、企業版ふるさと納税には返礼品は無い。

●税条例等中改正の件

【内容】「住宅ローン控除適用期間の延長・見直し」「上場株式等の配当所得等に係る課税方式の変更」「個人住民税における合計所得金額に係る規定の整備」、関係法令の改正に準拠した条文の整理を行う。

質 疑

問 住宅ローン控除の詳細は。

答 所得税に係る住宅ローン控除の適用期限を4年延長し、7年末までの入居者を対象に、控除率を1%から0.7%に引き下げられたが、控除期間が10年から13年に再延長された。また、所得税額から控除しきれなかった額を個人

住民税額から控除する措置は、控除限度額を課税総所得金額の7%から5%に見直した。

●手数料徴収条例中改正の件

【内容】畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律が施行されたことに伴い、「都市計画法施行規則」の一部が改正されたことから改正する。

質 疑

問 畜舎特例法の対象となる施設が町内にあるのか。

答 対象は市街化区域内の畜舎のため、今後の計画も含めて無い。



住民の命を守る

高規格救急自動車購入

【経過】現在、走行中の高規格救急自動車が購入して8年になるため（8年、または走行距離15万kmで更新）新しく購入することになった。

●高規格救急自動車【契約金額】2464万円

●高度救命処置用資機材等購入【契約金額】1885万700円

●公民館設置条例を廃止する条例制定の件

質 疑

問 公民館の除却スケジュールは。

答 借り入れしている起債の条件で、新施設の供用開始から5年以内に除却しなければならない。また使用していない建物でも一定のランニングコストが発生することから、令和5年度に除却工事を予定している。

●人権擁護委員推薦

(令和5年1月1日から7年12月31日まで)

刀根 道夫氏

上田 哲也氏

●大阪広域水道企業団議会議員

西田いく子

第2回定例会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	辻本 ひろゆき	村井 浩二	中村 直幸	森田 忠彦	山田 強	辻本 馨
税条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高規格救急自動車購入契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高度救命処置用資機材等購入契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
ふるさと太子応援基金条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
手数料徴収条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町立公民館設置条例を廃止する条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
後期高齢者医療に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長 ※可否同数の場合は、議長採決



民生委員のなりて不足の深刻化について

自由民主党
中村 直幸 議員

問 ①全国の主要自治体の5割が、国が年齢要件としている「75歳未満」を上回る独自の基準を設けているが本町の考えは。定年を迎えた町職員の経験を活かしてはどうか。②役割・活動内容の明確と見直しについて、達成感・満足度を尋ねるアンケート調査を。③民生委員さんの情報を終活に生かしたアドバイスをさらにサポート出来る活動の政策を。

答 ①民生委員の高齢化や活動が社会福祉全般に関することから多岐にわたっており、負担が大きく全国的に民生委員の成り手不足が課題。定年を迎えた職員のその後の過ごし方に対してまで町が答える立場にはない。民生委員の役割を考える上で、町会・自治会等の地域で、退職後の職員も含めて適任と思われる方を推薦いただいたうえで選任したい。②町でアンケートや調査は行っていないが、厚生労働省の補助を受け、文京学院大学が令和

2年度に調査している。法律に基づく国の制度である以上、町独自での見直しは困難だが、今後、民生委員の役割や活動内容も見直す必要があると考える。③高齢化に伴い、高齢者一人暮らし世帯及び高齢者夫婦のみ世帯が増加傾向にある。身辺整理が行き届かない高齢者世帯もあるが、個人財産でもあり、終活に特化した相談支援は行っていないが、放置された空き家や空き地が社会問題となっている。高齢者世帯に対して、今後も訪問活動を行い、適切な相談支援がなされる様、守秘義務を遵守しつつ役場関係課及び本町地域包括支援センター並びに社会福祉協議会などと連携しながら問題解決に努めるとともに町として取り組める事は無いか検討したい。

要望 民生委員さんの情報を行政サイドで共有し、弁護士、行政書士などに、日頃から相談出来る体制をつくるのが、大事。住宅、田畑、山林等を循環させ、波及効果、相乗効果を生みだし、太子町の活性化につなげるよう要望する。



空き家が社会問題に



「太子の森」について

しなが会
斧田 秀明 議員

問 町立生涯学習センター「太子の森」(以下:「太子の森」)の7月1日開館に向け、公民館利用者等の移行・予約状況は? 現段階の課題はあるのか?

答 従前の公民館を定期的に利用していた登録クラブ45団体やサークル(任意クラブ)17団体を対象に利用者説明会を4月下旬に開催し、これまでの登録クラブ優先の予約方法から全ての住民の皆さんが公平となる予約方法への変更をお願いした。その結果、予約申込の混乱はそれほどなく、比較的スムーズに移行できた。

7月・8月の予約状況は、これまでの公民館利用者に加え、旧観光交流センター利用団体や新規団体からの利用申込が増加している。今後も予約状況を注視し、施設の運営方法に必要な改良を加え、常に利用者の声を聞きながら、運営を進める。

問 「太子の森」構想は? 住民が集える施設を問う。

答 「太子の森」は、従前の公民館事業や観光交流センターとしての地域活動の拠点と、開架・閉架図書、最大9万冊を収納できる図書館の複合施設。その設置目的の「町民の生涯学習を支援することで、住民活動の推進、地域のにぎわいを創出し、町民の文化及び生活の向上に寄与する拠点施設」を実現するため「生涯学習に関するアンケート調査」を分析し、社会教育委員会議や文化連盟にて議論する。図書館運営では利用者の声を聞くための組織の早期構築を、また、クラブ・サークルの高齢化やメンバーの減少対策とし、今年度より「クラブ・サークル1日体験事業」や「文化・スポーツ活動活性化補助金」により、各団体の活性化を支援するとともに、すべての活動団体のネットワーク化を図る。本町の新たな地域づくりの拠点「太子の森」のにぎわいを創出し、その名にふさわしい、たくさんの住民の皆さんが笑顔で集える施設運営に努める。



生涯学習センター「太子の森」



ふるさと納税について

大阪維新の会
建石 良明 議員

問 昨年度の取組と実績について。

答 ふるさと納税については、令和3年度からは、より戦略的かつ積極的な取組みを行ってきた。PR方法では、事業者説明会に加え、職員による事業者へ訪問を積極的に実施し、好評を得ている返礼品の紹介など、町HPの内容も充実。また環境整備として、民間のふるさと納税ポータルサイトの利用を4サイトに増やし、スマホ決済にも対応させた。返礼品についても、12品目追加してラインナップの充実を行い、様々な所得層からの寄附を募るため、寄附金額を幅広く設定。このような取組みの結果、令和3年度における寄附件数は、595件（前年度比約14倍）、寄附額は1億1千183万9千円（同約80倍）と大幅に増加。このような成果を得て、三世同居・近居支援事業や入学祝い品や出産祝い品などの財源としても活用できた。

問 企業版ふるさと納税及び今後の取組方針について。

答 企業版ふるさと納税制度は、国が認定した地域再生計画に掲げる地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に法人関係税から最大約9割の税額軽減を受けることができる制度。本町では、今年3月に国から地域再生計画の認定を受け、昨年7月に民間企業等とのワンストップ窓口である公民連携デスクを立ち上げ、以降13社の企業と包括連携協定等を締結し、様々な取組みを実施してきた。企業版ふるさと納税の活用に向けては、こうした公民連携デスクを核とした企業とのネットワークを最大限活用し、その強化を図っていく。その中で、SDGs達成など、住民・企業・行政にとって「三方よし」となる戦略的なプロジェクトを積極的に提案していく。あわせて、個人版のふるさと納税制度に関しても、ふるさと納税型クラウドファンディングによる特産品の創出や事業者支援など、新たな取組みを研究していく。



好評な返礼品（フジ医療器のマッサージチェア・フットマッサージャー）



新型コロナウイルス感染症の臨時交付金について

公明クラブ
辻本 ひろゆき 議員

問 2019年より続く、コロナ禍による影響で社会・経済課題が深刻となっている。国では「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設されている。本町でも、この交付金を活用しているが、これまでの事業内容について。

答 臨時交付金を活用した事業の一例として、生活支援では、一般用水道基本料金全額免除、公共施設使用料の助成、新生児、新小中学校1年生のご家庭への給付事業、町立学校園の給食費無償化、高齢者等の生活支援として、インフルエンザ予防接種費用自己負担分無料化、自宅療養者への支援パック提供など、基礎自治体として住民の皆さまに寄り添う対応に努めてきた。事業者支援についても「太子町版持続化給付金」「事業者一時支援金」などの取組みをすすめてきた。

問 本年4月、臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設された。

町の実情に合わせた支援策など本町での交付金の活用法について。

答 令和4年度の交付金については、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を、地域の実情に応じて、きめ細やかに実施できるように拡充されており、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」として創設されている。

コロナ禍が長期化し、生活に深刻な影響が続いている現状。今後は生活支援と地域経済の活性化を推し進める事業、燃料費高騰の負担軽減など、十分に検討しながら、引き続き計画をすすめていく。

要望 太子町の住民で良かったとお声が聞こえるような、町の地域性、実情をしっかりと見極めた施策を実施していただきたい。





一時預かり保育を

日本共産党
西田 いく子 議員

問 府内で太子町だけが実施していない一時預かり保育の早期実施を。

答 「幼稚園型」を認定こども園と町立幼稚園で実施。子どもを緊急的に預かる一時預かりは、府内では本町を除くすべての自治体が実施。本町にあった利用しやすい子育て支援策検討をスピード感を持って進め、子育て環境の向上につなげたい。

加齢性難聴者の補聴器補助制度を

問 全国で補聴器補助制度をつくる自治体が広がっている。町議会も令和3年6月『加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的支援を求める意見書』を全会一致で可決。国に公的支援を求め、町独自に補助制度創設を。

答 貝塚市が購入費助成を実施。国で制度化することが望ましいと考えており現時点で助成制度を創設する考え

はない。加齢性難聴を含め高齢者の生活実態の把握に務め調査・研究を行い、府を通じ、国に公的支援に関する要望を行いたい。



補聴器でコミュニケーションを

学校給食費無償化を

問 給食費値上げ抑制のために文科省から「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」臨時交付金の活用を要請した通知が提出されている。町は、1学期間の給食費は無償だが2学期以降も給食費の無償化継続を。また、コロナの交付金がなくとも公約に掲げた給食費無償化実施を。「適切な時期・内容で無償化を実施できるように検討する」と言い続けて、もう2年経過した。スケジュールを示せ。

答 学校給食は教育活動として行うもの。しかしながら、持続可能な町の財政運営を行っていくためには、限られた財源をいかに適切に配分していくか、様々な視点から無償化の実施に向けた検討が必要。具体的な内容等について今後、示したい。ご理解を。



非核平和都市宣言の町の町長として平和の思いを問う

日本共産党
藤井 千代美 議員

問 ロシアによる軍事侵略は国連憲章に基づき平和秩序を取り戻すべき。憲法改悪の動きが強まっているが「武力には武力」では、平和は守れない。憲法9条を生かした外交努力が大切。町は、1985年に『非核平和都市宣言』を決議。2022年3月4日には、町長と議長名でロシアの軍事侵攻に対し『抗議文』を送った。『非核三原則』を昭和の価値観だと言い、核共有を発信する政治家がいる中で戦後77回目の終戦記念日に。平和への思いは。

答 ロシアによる軍事侵攻は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、武力行為を禁ずる国際法、国際連合憲章に反する行為であり、断じて許すことはできない。対話による平和的解決を強く求め、核兵器が使用されることは、決してあってはならない。戦争の悲惨さと平和の尊さを心に刻み、全ての人々が安全で安心して暮らせる社会を実現できる町政を推進したい。

要望 学校教育や町主催で戦争展を実施するなど平和について考える機会を持つよう要望する。

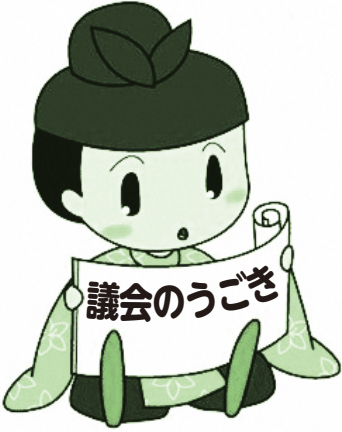
特別障がい者手当の対象者全員に周知を

問 特別障がい者手当は精神や身体に重い障がいがあり、常時特別な介護が必要な人に月2万7350円を支給する国の制度。要介護4、5の高齢者も該当することもある。要介護4、5は何人で、何人が特別障がい者手当を受給しているのか？自宅介護での受給者は。周知徹底を。

答 要介護4の方は99名、在宅は52名、内1名が特別障がい者手当を受給。要介護5の方は64名、在宅の方は31名、内3名が特別障がい者手当を受給。各相談支援機関と連携し、困難を抱えている方々に必要な支援が届く体制を整えるとともに、広報紙の掲載、ホームページの充実及び介護認定時に制度の案内を同封するなど、更なる制度周知に努める。

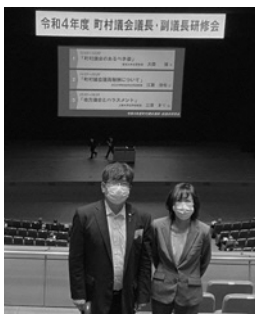


町立幼稚園児が議場見学に



5月19日に太子町立幼稚園の年長さんが、太子町議会の議場を見学に訪れました。議会事務局からの説明を緊張しながら真剣に聴いていましたが、議長席での集合写真は大はしゃぎ。未来の太子町議会議員が育つことを楽しみにしています。

全国町村議会議長会研修会



5月30日、3年ぶりに全国町村議会議長会研修会が東京国際フォーラムで開催され、辻本議長と西田副議長が参加しました。

『町村のあるべき姿』（地峡大学名誉教授 大森 彌氏）『町村議会議員報酬について』（大正大学教授 江藤 俊昭氏）『地方議会とハラスメント』（上智大学教授 三浦 まり氏）のテーマで60分間ずつ、3テーマについて研修しました。

町村議会の高齢化（60歳以上77.1%）、少ない女性議員（10%）、なり手不足は大きな問題であり「住民自治の根幹」としての議会を行動させる条件整備が必要だとの話がありました。

生涯学習施設建設調査特別委員会

6月23日、第36回 生涯学習施設建設調査特別委員会が開催されました。

『生涯学習センター「太子の森」の利用状況について』議員や担当課に届いている声や対応について質疑の後、7月1日のオープンに先がけての『記念式典』の次第について説明を受けました。

会派の異動

(令和4年4月1日付)

自由民主党 ◎山田 強、辻本 馨、中村 直幸

自民クラブ ◎森田 忠彦、村井 浩二

(◎幹事長)

全員協議会

6月2日の全員協議会におきまして、陳情・要望書を今定例会へ上程するか継続審議とするのか、取扱いについて審議しました。採決の結果をお知らせします。

件 名	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	辻本 ひろゆき	村井 浩二	中村 直幸	森田 忠彦	山田 強	辻本 馨
国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
女子トイレの維持及びその安全安心の確保について陳情申し上げます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
大阪府下のすべての市町村に犯罪被害者等支援条例の制定を求める要望書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
「IR（カジノを中核とする統合型リゾート）誘致計画（大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画）」を認可しないよう求める意見書（案）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
大阪府の保健所体制と医療の拡充を求める意見書（案）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—

各議員の賛否 ○賛成 □継続審議 — 議長 ※賛否が同数の場合は、議長採決

生涯学習センター

「太子の森」開館記念式典が 盛大に執り行われました



議会を代表して辻本馨議長からお祝いの言葉



田中町長と「最優秀賞」を授与された
「太子の森」命名者の福田遥さん



図書館開館にあたり佐藤 朔芳氏（元和歌山大学客員特別フェロー）から復刻版日本書紀等の寄贈があり、『緑の回廊』に展示しています。

7月1日オープンを前に6月30日、太子町生涯学習センター「太子の森」開館記念式典が執り行われました。

議会を代表して辻本馨議長から開館に際しあいさつがありました。関係各位の方々に対する謝意を表し「当センターは、かねてより耐震に不安のありました公民館とまちづくり観光交流センターを複合整備し、かつ待望の図書館機能も併せ持った施設として整備が進められてきましたが、その建設に当たって実に様々な議論がございました」と平成29年第2回定例会で生涯学習施設建設調査特別委員会を立ち上げて以来、36回にわたって議論を重ねた上で開館の日を迎えられたことを回顧し、今後の発展を願い「議論は未だ終結したわけではございません。田中町長はじめ理事者各位におかれましては、本日の開館を契機として、今一度、利用する人・しない人、双方のご意見に真摯に耳を傾けて頂きたい」「当センターが「太子の森」の愛称とともに、未永く愛される施設となりますことを心から祈念します」と祝いの言葉を送りました。

愛称『太子の森』に込められた「多くの生き物が森に集まって生活するように、たくさんの方の太子の人たちがこの施設を利用して欲しい」という思いを叶らせるために、これからも議会は、力を尽くしてまいります。



左から、辻本議長、福田さん、田中町長、浦野衆議院議員、鈴木府議会議員、須木府議会議員

次の定例会は、
9月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。
日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。

本会議の傍聴に来られる人へのお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴に来られる人については、次の事項を遵守の上、参加をお願いします。

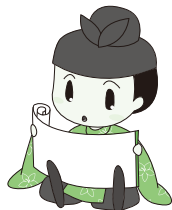
- マスクの着用
- 手指消毒
- 検温
- 間隔をあけて着席

※傍聴者が多数予測される場合は、当日、事前に傍聴券を配布する場合があります。

木のぬくもりを感じる図書館
多くの方のご利用を
お待ちしております。



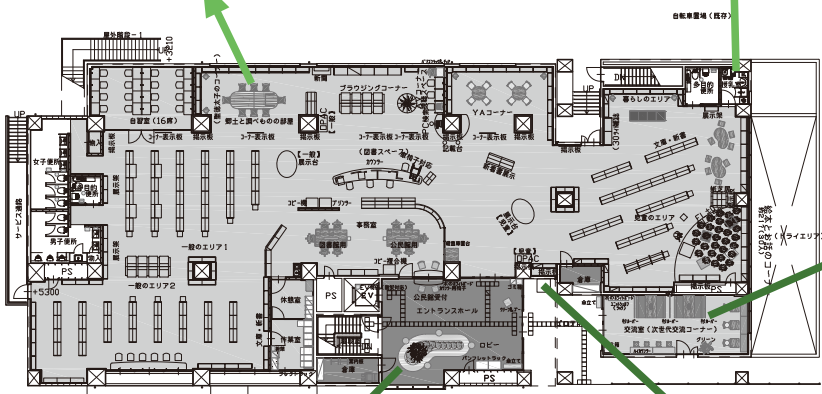
私たちが
お待ちしております。



児童エリアには、授乳室があり、調乳専用浄水給湯器もあります。赤ちゃんを連れてきても大丈夫。



「郷土と調べものの部屋」には太子町や聖徳太子に関する本が並んでいます。



2階、図書館のフロアです



2階入口、右側の交流室は、無料でどなたでもご利用できます。飲食もOK。ゆっくりご歓談ください。



2階入口、ロビーです。入口にはマッサージチェア（フジ医療器寄贈。4階にも設置しています）も。読書、学習、体操で疲れた身体をほぐしてください。



3階、4階は、クラブ、サークル活動などに利用できる施設です。来年の3月31日までは、無料で使用できますので、ぜひご利用ください。



返却ポストの横には、包括連携協定を締結したダイドードリンコ株式会社と共同企画、太子町産みかんを活用した「ミウ おいしいみかん水 ラブジアース」が販売されています。素直に「おいしい!」です。一度ご賞味あれ。